

アイワ自動車販売株式会社

# 環境活動レポート

(対象期間2016年 1月 ~ 2016年 3月の3か月間)



作成年月日 : 2016年 6月 1日

アイワ自動車販売株式会社

# I 事業概要

## 1. 事業所名及び代表者名

アイワ自動車販売株式会社

代表取締役社長 山田 勲

## 2. 所在地

登記上の本社

静岡県浜松市東区宮竹町237-1

本 社

静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1187

マツダオートザム浜松AIWA 篠ヶ瀬営業所

静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1181

## 3. 環境管理責任者名及び連絡先

環境管理責任者 : 伊藤 俊

EA21活動事務局 : 伊藤 俊

TEL : 053-422-1010

FAX : 053-422-1213

E-mail: hamamatsu-aiv.sl@mazda-autozam.jp

## 4. 事業の内容

自動車販売、整備

## 5. 事業規模

活動規模 : 平成27年度実績 平成26年度実績 平成25年度実績

売上高 : 非公開 非公開 非公開

従業員 : 6人 6人 6人

床面積 : 333㎡ 333㎡ 333㎡

## 6. 対象範囲

マツダオートザム浜松AIWA(篠ヶ瀬営業所)

登記上の本社、本社、倉庫は対象外

4年後に全営業所の取得を目指していきます。

## Ⅱ 環境方針

### アイワ自動車販売株式会社 環境方針

#### 《環境理念》

アイワ自動車販売株式会社は自動車販売、自動車整備での全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献いたします。

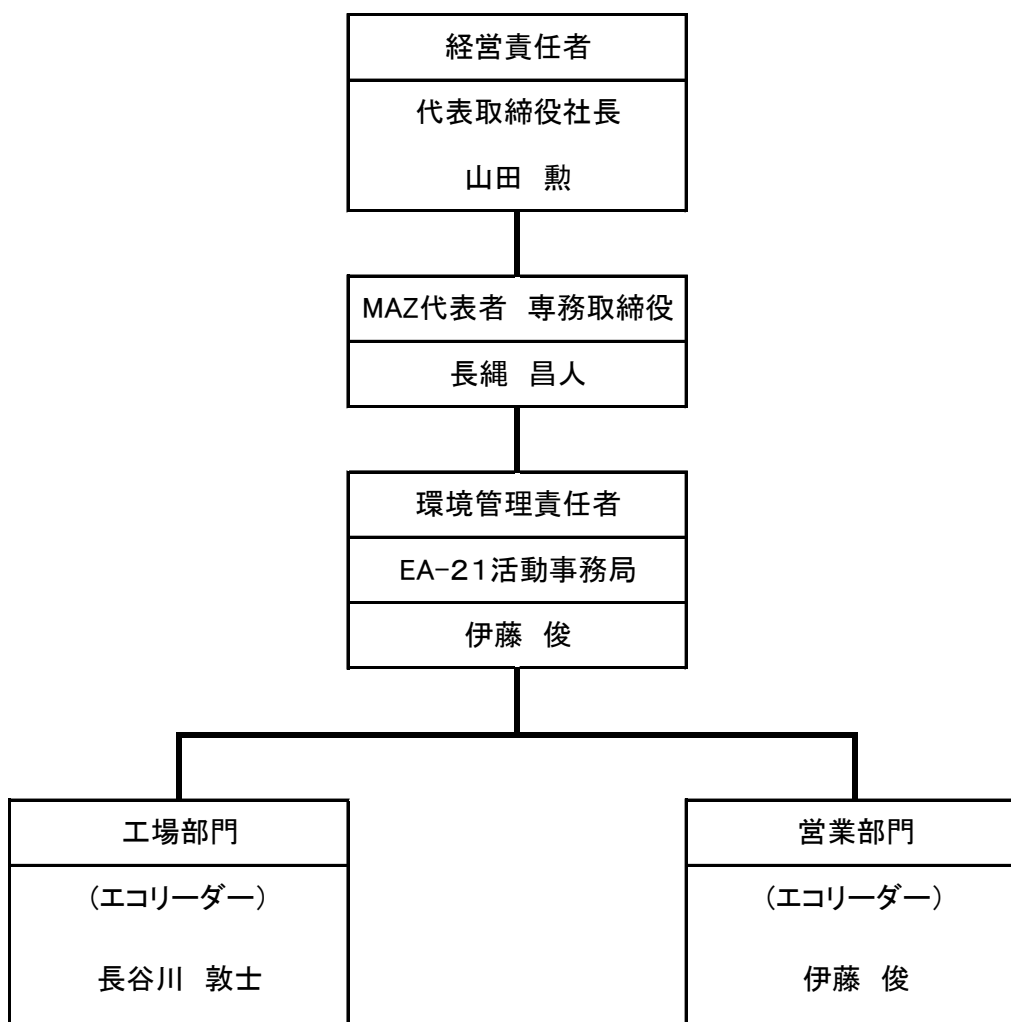
#### 《基本方針》

- ① 環境に関する法規制を遵守します。
- ② 自動車の定期点検を促進すると共に環境に配慮した製品の提供及び、グリーン購入を推進します。
- ③ 限りある資源を大切にす為、展示場、整備工場、事務所で用いる水資源及び、電気、化石燃料の使用量を減らし、CO2量削減に努めます。
- ④ 廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進します。
- ⑤ 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。

環境活動レポートを取りまとめ公表し、社内においては、全従業員参画による取組みを目指します。

制定 2016年 1月 1日  
アイワ自動車販売株式会社  
代表取締役社長 山田 勲 印

### Ⅲ アイワ自動車販売 実施体制



担当者	役割
代表者 代表取締役社長 専務取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・EMSの実施及び運用に必要な人、設備、費用、時間を用意</li> <li>・環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標の設定を承認</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> <li>実務上の責任者として、環境取組を推進する (※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲)</li> <li>・EMSの構築、実施、管理</li> <li>・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取組を推進する</li> <li>・環境取組の指導、支援</li> <li>・環境データの集計、取りまとめ</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境取組を推進し統括する</li> <li>・担当部門の環境取組の責任者</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境取組を推進する</li> <li>・環境への取組の実行者</li> </ul>

## IV 環境目標とその実績

- ・目標の設定に当たっては、過去1年間の負荷実績で現状にあった2014年度実績を基準とする
- ・グリーン購入(事務用品グリーンマーク品)目標の設定に当たっては過去の実績が把握できなが運用期間も含め10%の目標設定とした

次年度の目標は、方針に添って、適切に展開します

### 1. 環境目標(中期)

項目	単位	2014年度 基準年	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素排出量 (2017年度までに4%削減)	kg・c	32,152	32,064	31,509	31,187
電力	KWH	50,462	49,829	49,453	48,948
ガソリン	L	1,920	1,990	1,882	1,862
軽油	L	520	550	510	504
灯油	L	120	120	118	116
廃棄物排出量 (2017年度までに4%削減)	t (kg)	—	—	-3%	-4%
産業廃棄物	t (kg)	2.5	2.5	-3%	-4%
一般廃棄物	t (kg)	2.5	2.5	-3%	-4%
水使用量 (2017年度までに4%削減する)	m <sup>3</sup>	609	379.0	450.0	420.0
グリーン購入 (事務用品エコマーク品30%購入)	%	75%	75%	75%	75%

購入電力二酸化炭素排出係数 中部電力(H25年度):0.513 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

### 2. 運用期間実績

運用期間2016年1月～2016年3月の実績は以下の通りです

項目	単位	2015年 1月～3月 実績	2016年 運用期間 (目標)	2016年 1月～3月 実績	実績評価
二酸化炭素排出量	kg・c	10,319	10,112	9,718	94.2% ◎
電力	KWH	16,194	15,870	14,795	91.4% ◎
ガソリン	L	580	568	610	105.2% ×
軽油	L	190	186	210	110.5% ×
灯油	L	40	39	40	100.0% ○
廃棄物排出量	m <sup>3</sup>	—	—	—	—
産業廃棄物	t	—	—	—	—
一般廃棄物	t	—	—	—	—
水使用量	m <sup>3</sup>	172.0	168.6	73.0	42.4% ◎
グリーン購入	%	—	10%	—	—

<コメント>

◎大変良し ○良 △対応策を検討 ×要改善

電気、水ともに節電、節水効果が現れて、大変良い結果となった。  
ガソリン、軽油については、売上台数が伸び、納車時に燃料を補給する機会が増えたため、増加となっている。ただし売れている車がエコカーのため、結果、二酸化炭素排出量の軽減に貢献できていると考えております。

グリーン購入について、現状、約75%と高水準で購入しているため、今後、どのように増加させるかを検討する必要がある。

# V 活動計画

環境計画項目		実施責任	活動スケジュール											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
二酸化炭素の削減	エコドライブ	A. 不必要なアイドリングの禁止	←→											
		B. 不要な荷物を降ろす	←→											
		C. 急発進・急加速の禁止	←→											
		D. タイヤの空気圧をチェック	←→											
	エコ整備	A. 省エネオイルの使用	←→											
		B. コンプレッサーの昼休み停止	←→											
	空調	A. エアコンの設定温度を夏28℃冬20℃に設定	←→											
		B. クールビズ・ウarmeビズの実施	←→											
		C. 定期的フィルター清掃	←→											
		D. 使用していないエリア空調停止	←→											
		E. 日射を遮るため遮光対策の実施	←→											
	照明	A. 消灯の徹底	←→											
B. 照明の間引き		←→												
C. タイマー照明		←→												
水使用量の削減	洗車時の節水	←→												
	水もれ点検の実施	←→												
廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用	←→												
	封筒などの再利用	←→												
	裏紙の積極使用	←→												
グリーン購入	事務用品グリーン購入の推進	←→												
	再生バッテリーの推進	←→												
	ECOオイルの推進	←→												
教育訓練	環境経営システムの運用説明	←→												
	緊急事態の想定訓練	←→												
	定期研修	←→												
	管理者研修	←→												
備考														

## VI 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境項目		実施責任者	評価コメント	継続・新規区分	
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	A. 不必要なアイドリングの禁止	長谷川	問題なく行えている	継続
		B. 不要な荷物を降ろす			
		C. 急発進・急加速の禁止			
		D. タイヤの空気圧をチェック			
	エコ整備	A. 省エネオイルの使用	長谷川	たまに、お昼にコンプレッサーが動いている	継続
		B. コンプレッサーの昼休み停止			
	空調	A. エアコンの設定温度を夏28℃冬20℃に設定	各エコリーダー	空調に関しては、まめに温度設定を見直していたり、清掃していたりと問題はない	継続
		B. クールビズ・ウォームビズの実施			
		C. 定期的フィルター清掃			
		D. 使用していないエリア空調停止			
		E. 日射を遮るため遮光対策の実施			
	照明	A. 消灯の徹底	各エコリーダー	問題なく行えている	継続
B. 証明の間引き					
C. タイマー照明					
水使用量の削減	洗車時の節水	各エコリーダー	問題なく行えている	継続	
	水もれ点検の実施				
廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用	伊藤	問題なく行えている	継続	
	封筒などの再利用				
	裏紙の積極使用				
グリーン購入	事務用品グリーン購入の推進	伊藤	問題なく行えている	継続	
	再生バッテリーの推進				
	ECOオイルの推進				
教育訓練	環境経営システムの運用説明	伊藤	教育訓練について、現状出来ていない 10～12月の期間中に開催予定	継続	
	緊急事態の想定訓練				
	定期研修				
	管理者研修				

## VII 環境関連法規の遵守状況

評価日 2016年4月1日

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価者 事務局 伊藤 俊

環境関連法令	遵守事項	当社の受入対応	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、施策協力 事業系一般廃棄物の排出 廃棄物保管  廃棄物排出委託基準 委託先の実地確認と記録の保存 マニフェスト管理  マニフェスト交付状況の知事報告	廃棄物の分別 浜松市条例の遵守と適正排出 保管場所の確認 保管場所表示 指定業者との契約確認 現地確認記録の保管 マニフェストの交付、保管 D,E票の期間内返却 6/30までに報告書提出	対処中
自動車リサイクル法	使用済自動車の回収依頼、 リサイクル料支払	使用済自動車の引取 リサイクル管理システムでの移動報告 リサイクル料金の預託	○
騒音規制法 静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設の届出	特定施設の届出 コンプレッサー 1台 3.7Kw	対象外
	届出内容の変更有無	変更無し	—
	規制基準値の遵守	騒音の測定(市及び自主検査)	○
振動規制法 静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設の届出	特定施設の届出	—
	届出内容の変更有無	変更無し	—
下水道法	特定施設の届出	特定施設の設置なし(自動洗車機)	○
循環型社会形成 推進基本法	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
フロン排出抑制法	エアコン・冷凍(冷蔵)機器の廃棄時 (自主点検、定期点検)	フロン回収業者への引き渡し (フロン漏洩時の報告義務) 第一種特定製品 3台	○
家電リサイクル法	指定家電(家庭用エアコン)の廃棄時	リサイクル料金の支払(廃棄時)	—
資源有効利用促進法	指定再資源化製品のリサイクルへの 協力	メーカー回収への協力 (パソコン、小型二次電池等の廃棄時)	—
消 防 法	少量危険物の保管	消防署への届出 500L以下	—
	火災予防	消火設備の定期点検	○
その他	リーチ(REACH)規制	リーチ適合材料の使用及び適合 製品の 納入	○

### 2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした



## Ⅷ、経営者による全体の評価と見直し

今回の活動結果において、二酸化炭素排出量など概は、良い結果が出たと思われます。

今後、廃棄物の分別によるリサイクル化によって、削減を努力していきます。

又は、クリーンディーゼルをはじめ、エコカー販売強化に取り組むことで、環境負荷軽減に寄与していきます。

運用期間の3カ月を終わったばかりであり、環境方針、環境目標、環境活動計画、環境経営システムの変更をする必要はないと判断しました。その旨を環境管理責任者に指示を出し、活動の順調な推進を維持することとしました。

2016.6.1  
MAZ代表者  
長縄 昌人